企業　×　難病・慢性疾患・障がい当事者

つくるをひらく

出張ワークショップ

当事者の声を“あとからの意見”ではなく、ものづくりの最初の視点に

当事者・家族が
「対話のパートナー」として
直接参加します！



企業でものづくりに携わる人と、
一般社団法人エニワンプロジェクトに登録する
当事者・家族が 同じテーブルで日常を振り返り、
「誰もが嬉しいものづくり」を考える共創の場です。

**一人の「困った」が、
みんなに役立つ工夫につながることがあります。**

当事者の視点を起点に、企業の事業領域に合わせて
テーマを設定し、日常の課題から新しいアイデアを
見つけるワークショップ。



ワークショップで得られた“生活者の視点”をもとに、
サービス開発・事業化まで伴走することも可能です。
当事者の声を起点に、企業の課題解決につながる実装フェーズまで支援します。

対 象	商品・サービス・事業開発チーム
人 数	6〜12名
所 要 時 間	2時間30分





- 企業内の会議室など。会場の広さや設備に合わせて実施方法を調整します。
  ※必要に応じて、会場までのバリアフリー状況を事前に確認させていただくことがあります。
- 料金はプログラム内容により異なるため、個別にご案内しております。

詳細・お問い合わせは
QRコードまたは検索

一般社団法人エニワンプロジェクト

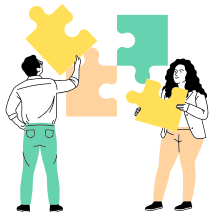
難病とともに生きる当事者が中心となり、「OTAGAISAMA（お互いさま）」と「ON-OKURI（恩送り）」の精神を大切に、「病気がある人もない人も当たり前に生きられる社会」を目指して、誰もが挑戦できる場づくりに取り組んでいる団体です。

エニワンプロジェクト　つくるをひらく

当事者の「困った」を、次の商品・サービスの種に。

課題の発見から、企画・試作・検証まで伴走します。

患者・生活者の視点を踏まえた事業づくりの専門知識と、
多様な疾患を抱える当事者・家族のネットワークで、
企業の事業開発を「共創型」で支援します。



1｜多様な疾患ネットワーク

企業が自力では集めにくい“生活者の声”を、質・量ともに確保できます。

- 112種類以上の疾患・障がいに関わるネットワーク（オンライン交流会23回開催、延べ137名参加〈2026.10時点〉）
- 多発性硬化症／視神経脊髄炎／MOG抗体関連疾患 患者会「M-N Smile」（約720名在籍〈2026.10時点〉）とのパートナーシップ体制
- 企業の事業領域に合わせて、適切な当事者チームを編成可能



2｜専門家による伴走

エニワンプロジェクトには、ヘルスケア領域での事業開発を中心に、
企業の新規事業・組織づくり・人材育成まで幅広く支援できる専門家が在籍しています。



大角 知也（おおかど ともや）

IQVIA、FRONTEO、TXP Medicalなどで事業責任者を歴任。ヘルスケア領域における事業開発・コンサルティングに従事し、医療データ・AI活用、患者サポートプログラム（PSP）の設計・推進などに携わる。企業や医療関係者などとの連携を通じ、患者・生活者の視点を踏まえた事業づくりを支援している。早稲田大学ビジネススクール卒業。

3｜サービス開発までの流れ

当事者とともに、課題の発見から
企画・試作・検証まで伴走

01	02	03	04
課題の発見	企画	試作	検証
声を聴く	アイディアを育てる	形にする	価値を確かめる

対話で見つけ、つくって確かめ、よりよい形へ

4｜企業にとってのメリット

- **見過ごされてきたニーズから、新たな事業機会を発見**
  当事者の日常の困りごとと、自社の商品・技術・サービスを結びつけ、新規事業や既存事業の改善テーマを探ります。
- **当事者との検証で、開発の手戻りを抑える**
  企画段階から使いやすさや利用場面を確認し、開発後に気づきやすい課題を早期に把握します。
- **自社の強みを、選ばれる価値へつなげる**
  当事者が必要とする価値を掘り下げ、自社ならではの商品・サービスの差別化につなげます。
- **事業化の判断に使える材料が得られる**
  誰の、どの課題を、どう解決するかを整理し、企画提案や次の検証に必要な材料をまとめます。
- **対話から試作・検証まで、一貫した伴走を受けられる**
  ワークショップで得た気づきを、専門家とともに具体的な企画やプロトタイプの評価・改善へ進められます。

〈実績〉

- 2026年2月｜第1回ワークショップ（満足度100%）
  食品、コンビニ、製造、ECなど多様な業界から参加。 TBSラジオ「人権TODAY」で紹介。
- 2026年6月｜第2回ワークショップ（満足度100%）
  製薬・臨床開発、患者サポートプログラム、製造、Webサービス、まちづくりなど幅広い領域から参加。
- 2026年9月｜伊藤忠ファッションシステム（iSFL）主催イベントにて出張WSを実施
  多様なメーカー・小売企業が参加し、生活者視点のアイデア創出を支援。

詳細・お問い合わせは
QRコードまたは検索

エニワンプロジェクト　つくるをひらく